

ヒグマフォーラム 2023 in 札幌

待ったなしのクマ対策

～今後 10 年のグランドデザイン～

日時：2023 年 11 月 11 日（土）

13：00～17：15

会場：札幌エルプラザ 3 階ホール
（札幌市北区北 8 条西 3 丁目）

市街地侵入、人身事故…
人とヒグマのあつれきは
予想を上回る速さで増加
しており、一刻も早く適
切な対策をとらなければ
なりません。

今年のヒグマフォーラム
ではヒグマ管理の処方箋
を明確にすることを目指
します。

参加無料
申込不要

〈プログラム〉

1. ヒグマ管理の対策
－どこで何をする？
2. 管理の体制作り
－誰がする？
3. 普及啓発
－どう伝える？
4. モニタリングと調査研究
－何を根拠に？

※プログラムは変更される可能性があります

▼詳細はこちら



主催：ヒグマの会

共催：札幌市

後援：北海道、

日本クマネットワーク

問い合わせ：

ヒグマの会事務局（事務局長 佐藤喜和）

E-mail: higuma.no.kai.1979@gmail.com

プログラム

司会進行：向井 徹（北海道魚類映画社）

- 開会挨拶／坪田 敏男（ヒグマの会会長）、秋元 克広（札幌市長）
- 来賓挨拶／太田 憲之（北海道議会議員）

第1部 昨今のヒグマ問題対処への処方箋

セッション1 「ヒグマ管理の対策（ゾーニングに基づく対策）－どこで何をする？－」

- 導入説明／佐藤 喜和（酪農学園大学）
- さっぽろヒグマ基本計画とゾーニング管理／清尾 崇（札幌市環境局）
- 北海道のヒグマ対策の現状と課題－地域対応力の強化に向けて－／武田 忠義（北海道環境生活部）

セッション2 「管理の体制作り－誰がする？－」

- 導入説明／釣賀 一二三（北海道立総合研究機構）
- 走りながら考えるヒグマ管理の原点－占冠村の専門員活動－／浦田 剛（占冠村林業振興室）
- 実効性を持たせるために必要な人材と体制／山中 正実（公益財団法人知床財団）

休憩（約45分） ホール入り口通路及びホワイエのブース展示をご覧ください

第2部 基本はヒグマについて学び知ること

セッション3 「ヒグマとつきあう普及啓発－どう伝える？－」

- 導入説明／山本 牧（もりねっと）
- 世界で一番ヒグマの生息密度が高い知床半島にある公立学校「知床ウトロ学校」のヒグマ学習とヒグマ観／渡邊 圭（知床ウトロ学校）
- ヒグマ対策に一般市民が関与するにはどうすれば良いか？
－さっぽろヒグマ市民会議の実践をとおして－／遠藤 優（北海道大学）

セッション4 「モニタリングと調査研究－何を根拠に？－」

- 導入説明／坪田 敏男（北海道大学）
- ヒグマ管理に求められる調査研究－知床半島における取り組みを例に－／下鶴 倫人（北海道大学）

休憩（約10分）

第3部 質疑応答・総合討論

司会進行：間野 勉（北海道立総合研究機構）、伊藤 泰幹（北海道大学）

- 閉会挨拶／山本 牧（ヒグマの会副会長）